

28年5月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成28年5月1日～ 28年5月10日

2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は12社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	26/6月	26/7月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 18.2	△ 27.3	△ 22.7
	マツ	△ 40.9	△ 45.5	△ 36.4
	広葉樹	△ 16.7	△ 12.5	△ 12.5
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 35.0	△ 25.0	△ 25.0
	マツ	△ 45.0	△ 35.0	△ 35.0
	広葉樹	△ 27.3	△ 9.1	△ 9.1
在庫動向	スギ・ヒノキ	15.0	△ 10.0	△ 15.0
	マツ	△ 30.0	△ 40.0	△ 40.0
	広葉樹	△ 9.1	△ 18.2	△ 13.6

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は、5月に一部樹種に在庫の増加があるものの、総じて3カ月連続して減少。

(2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	26/5月	26/6月	26/7月
スギ・ヒノキ	0.0	0.0	0.0
マツ類	4.5	9.1	9.1
広葉樹	0.0	4.2	4.2

・チップ用国産原木の購入価格は、スギ・ヒノキは3カ月連続して横ばい。マツ類及び広葉樹はやや強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・製紙会社の減産で消費がやや減少（東北）。
- ・スギは森林再生事業の入荷が見込まれ増加。マツは民有林の伐採により入荷量を安定的に確保予定。広葉樹は再生事業の材の入荷で増加（東北）。
- ・森林組合の間伐事案が3～4あり、仕入れがやや増加（中部）。
- ・仕入れの荷動き好調。消費・在庫は変動なし（中国）。
- ・伐採時期は悪くなって来るが仕掛山林などがあり、仕入れ及び在庫は当月やや増、翌月横ばい、翌々月はやや減少。製紙会社も安定受入れに戻り、消費は横ばい（四国）。
- ・横ばいで入荷。消費は、5月の製紙会社の定期点検、4月中旬からの震災により、余震による事故防止や点検修理の影響が出てやや減少、原木在庫は増加（九州）。
- ・広葉樹が入らない（九州）。

(原木価格)

- ・全樹種入荷量が増加傾向で価格も安定（東北）。
- ・特に変化なし（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・しばらくは変化ない。システム販売材は製紙用、燃料用共に新年度分から上げた（九州）。

28年5月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	26/6月	26/7月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 27.8	△ 5.6	△ 16.7
	マツ類	△ 50.0	△ 30.0	△ 40.0
	広葉樹	△ 20.0	0.0	△ 10.0
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 25.0	△ 15.0	△ 5.0
	マツ類	△ 45.5	△ 36.4	△ 27.3
	広葉樹	△ 20.8	△ 4.2	4.2
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 18.8	△ 18.8	△ 12.5
	マツ類	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	広葉樹	△ 30.0	△ 30.0	△ 30.0

・木材チップの生産、出荷及び在庫は、一部樹種に横ばいしないしやや増加があるものの、総じて3カ月連続して減少。

(2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	26/5月	26/6月	26/7月
スギ・ヒノキ類	0.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は、3カ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(木材チップ荷動き)

- ・製紙会社からの出荷制限で針葉樹の生産やや減（東北）。
- ・広葉樹は入荷の増加で、出荷量も増加の予定（東北）。
- ・仕入れが増えた分に合わせ生産・出荷が若干増加（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・生産、出荷共に製紙、ボード、燃料とも安定横ばい（四国）。
- ・5月は受入止めで生産・出荷減（九州）。
- ・広葉樹原木入荷に応じ生産（九州）。

(木材チップ価格)

- ・価格変わらず（東北）。
- ・特に変化なし（中部）。
- ・変動なし（中国）。
- ・しばらく変化なし（九州）。
- ・広葉樹は現状維持（九州）。